

# #2 外科 専門研修プログラムの紹介

国立病院機構 岡山医療センター



## 命を救うプロフェッショナルとして、 いつの時代にも必要とされる外科医に

岡山医療センター 外科・副統括診療部長 太田 徹哉

### 岡山医療センターの外科専門研修プログラムについて——

当院には、外科（消化器外科・乳腺甲状腺外科を含む）・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科という、外科専門研修に必要な診療科が全て揃っているため、多彩で偏りのない研修により、基幹病院である当院での2年間で専門研修に必要な手術数を確保することができます。

その上で、サブスペシャリティ研修を念頭に置きながら、当院でのローテーション及び連携施設での研修を選択することができます。がん診療（腫瘍外科）志望であれば「四国がんセンター」、小児外科・心臓血管外科志望であれば「四国こどもとおとなの医療センター」と連携するなど、外科のどの分野に進むのかキャリアパスが見えやすいことも特徴です。

研修体制としては、待機症例では指導医とのチームで学び、救急症例では自ら判断して緊急手術を遂行する力を身につけてもらいます。教育体制は屋根瓦方式にて、後輩や初期研修医を指導する経験を通じて更なるスキルアップを図ることができます。各診療科スタッフは皆教育熱心で、院全体で医師を育てる環境も魅力です。

### Q 先生にとって外科医の魅力・強みは？

**A** 外科医の醍醐味は、自らの技で命に関わる病気を治せたと実感できることであり、現代においては、そうした充実感を得難いものだと思います。さまざまなリスクを引き受けることにもなりますが、その対応能力を自然と身につけられることは医師として大きな強みにもなりますし、生涯を通じて大きなやりがいを得ることもできます。

### Q 外科医を目指したい読者に伝えたいことは？

**A** 人の体にメスを入れることを自他ともに許される存在が真の外科医です。AIが取って代わることでできない技を受け継ぎ、患者さんやメディカルスタッフに必要とされ尊敬される外科医になってほしいと思います。

### 岡山医療センターだから経験できること、学べること——

外科医には、手術という患者さんにとっての一大イベントを、責任感を持って安全かつ成功裏に完遂する有形無形のスキルが求められます。手術を行うためのマネジメントやディジション・メイキングも不可欠であり、患者さんやスタッフからの信頼を得ることも重要です。そのためには、「自分の技術で患者さんを救うのだ」という強い信念と、常に患者さんへ寄り添う思いが必要となります。

また、現在では外科領域が細分化され、さらに内視鏡手術などの進歩、普及によって技術偏重の風潮もあり、外科治療の基盤である全人的医療が軽視されがちな傾向も出てきています。このような状況のなかで求められているのは、命に直結する手術を行うプロフェッショナルとして、内科の診断学や治療も踏まえた総合的な実力を兼ね備え、かつ努力を怠らず、技術的な向上を目指し続ける外科医です。当院での研修なら、こうした外科医として必要なスキルやマインドを着実に習得できると自信を持って言えます。



### PROFILE

出身地 : 岡山県岡山市  
出身大学 : 岡山大学 (1988年卒)  
宝物 : 患者さんの笑顔  
座右の銘 : 鬼手仏心



国立病院機構

### 岡山医療センター

所在地 〒701-1192  
岡山県岡山市北区田益1711-1  
WEB <https://okayama.hosp.go.jp>

病床数 **609**床 診療科数 **29**科

### 岡山医療センターの特徴

全29診療科、609床の病床を有する高度急性期総合病院であり、地域がん診療連携拠点病院や地域災害拠点病院、地域医療支援病院に認定されています。

1. 高度に専門的な先進医療を総合的に提供している
2. 総合周産期母子医療センターに指定されており、成育医療における先導的役割を担っている
3. 卒後臨床研修病院として研修医教育を精力的に行っている
4. 地域医師会の生涯教育について積極的に協力している
5. DPC実施の急性期病院であり、脳・循環器系における先導的役割を担い、アクティブな診療を行っている。

### 外科専門研修プログラム × 年間計画

4月	外科専門研修開始 専攻医及び指導医に提出用資料の配布 日本外科学会参加(発表)	2月	専攻医: 研修目標達成評価報告用紙と、経験症例数報告用紙の作成(書類は翌月に提出) 専攻医: 研修プログラム評価報告用紙の作成(書類は翌月に提出) 指導医/指導責任者: 指導実績報告用紙の作成(書類は翌月に提出)
5月	研修修了者: 専門医認定審査申請・提出	3月	その年度の研修終了 専攻医: その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 指導医/指導責任者: 前年度の指導実績報告用紙の提出
8月	研修修了者: 専門医認定審査(筆記試験)		研修プログラム管理委員会開催
11月	臨床外科学会参加(発表)		